

平成 26 年度 同好会事業報告

技術・家庭科 同好会 世話係名 平澤 和広 会長名 塩澤真千子

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
5 月 2 日	発足会	19 名
7 月 31 日	夏期講習会 技術 明日から役立つ技術の教材開発 家庭 はぎれを使ったコサージュ作り 食品添加物の教材研究 合同 和食のマナー研修	技術 6 名 家庭 18 名

今年度、家庭科、技術・家庭科同好会は、夏季休業中の研修として、小布施中学校で技術分野・家庭科分野に分かれての研修会を行いました。

技術分野は、昨年度に引き続き、松本市のコバヤシ造形堂さんをお願いし、実践事例の少ない「Bエネルギー変換に関する技術」の教材研究として、オルゴールの回転を様々な動きに変換する演奏人形の製作を行いました。

家庭科分野は、豊洲小学校宮川まゆみ校長先生を講師に「はぎれを使ったコサージュを作ろう」「清涼飲料水を作ってみよう」の二題材で研修を行いました。初めに、宮川先生作のコサージュを見せて頂いたのですが、その美しさと華やかさに全員が魅了されました。そして、その材料は古布のはぎれや百元ショップの手拭いを利用していると聞きし、二度びっくり。参加者みな、教材の面白さに惹かれ創作意欲をかき立てられました。素材の色・形・組み合わせを工夫し、個性溢れるコサージュが次々と完成していきました。

宮川校長先生には、教材を教えて頂くだけでなく、「題材との出会わせ方」「一人ひとりが作りたいものへの思いを十分に発揮できる材料や用具の丁寧な準備の在り方」も教えて頂き、毎日の授業実践に繋がる有意義な研修の機会となりました。また、今年度も相森中学校家庭科部から十名の生徒の参加があり、和やかな雰囲気の中で、研修を深めることができました。

その後、技術・家庭科分野合同で割烹鈴花にて、「和食のマナー研修」も行いまし

た。長野県には数少ない「茶懐石」。その歴史や作法を学ぶとともに、実際に体験するなかで、和食の奥深さを知ることができました。情報交換もでき、貴重な時間となりました。（同好会長 塩澤真千子）

